アンチビーストに
敗れ捕まって
しまったシズル

ククッ…
いい様だなァ
闇のお姉ちゃん……
いや、シズル

ポロン

お前には
今再び闇の力に
染まってもらう

そして新しい姿に
生まれ変わるのだ

前のような
半端なカタチではなく
真にオレに従順な僕……
奴隷妻…すなわち

…ッ!?

なに…
これ…っ

〝闇の花嫁〟にな

…っ
誰がそんな
ものに…っ!!

くいっ

ククッ…
オレもただ無為に
力を貯めていたワケ
じゃない

あれから学んだのさ
生物の最も強い欲望の力
すなわち――

ぷるんっ

生殖の欲求をな

これでお前を
徹底的に
染め抜いてやろう

ククッ…
やはりメスに対して
この力は絶対的だ

弟くっ…♡
ごめっ…♡

はーっ♡
はーっ♡

今までこの力に
目を付けていなかった
ことがバカらしくなるな

——だが
油断はできない

どくどくぉ…♡

魔法少女は
愛と希望の力で
いくらでも蘇るからな

むしろ
ここからが本番

なにっ
これっ♡

おなかっ
あつっ♡

ぉ…♡

なに時間はある

焦らずじっくり
楽しむとしよう

生物の
根源的欲求である
生殖の欲求

どうだ？
気は
変わったか？

そんなっ
ワケが…っ
んあぁっ♡

子宮とはその大元

そこにオレの
欲望を増大させる
闇の力を注ぎ込み――

淫紋として
定着させることで
『子宮そのもの欲求』を
極限まで増幅させる

感じるだろう？

オレの精を注がれ
お前の子宮が悦びに
打ち震えているのを

『子を成したい』

『孕みたい』と

お前の理性を
焼き焦がさんばかりに
訴えかけているのを❤

この隔離空間での
性交開始から
通算300時間が経過

表面上は反抗的な態度を
崩さないもののついに
自発的に腰を振るに至った

オレを受け入れ始めた
膣内の顫動が
実に心地いい

こちらの要求も
素直に受容する
ようになった

つまり子宮の欲望が
その脳髄まで侵食し
理性を喰らい始めた
ということ

淫紋を通じてオレの
蓄えた性に関する知識も
植え付けてやるとしよう

ククク…
仕上がってきたなァ
シズル…

肉体も心も…

オレの妻に
相応しい淫らな
カタチになァ…

ちろっ
ちゅるっ
にゅるっ
なりゅうっ
ずりゅっ
ずりゅっ
ずりゅ

ククク…
感じるぞ…

あ…♡

代わりにお前の中に
満ちていた弟くんとやらへの
想いは萎んで霞んでいって
しまっているようだが…

淫紋を通じて
オレとお前の繋がりが
より深く…より強固なモノに
なっていくのがな

たっぷ
たっぷ

まぁ些細な
ことだろう？

もうお前にはオレがいるのだからな

遠からずお前はオレだけを愛しオレだけを求めるようになる

よそ恋慕も情愛も…そのすべてをオレだけに向けるようになる

クク……楽しみだ

お前が身も心も
オレに捧げ
真にオレの花嫁になる
その時が…な

END……♡